

## 東京都立青梅総合高等学校（定時制）

～日本語指導支援員を増やし  
習熟度別の対応が実現～

### 事例概要

場面	授業前の日本語指導支援（特別の教育課程）
頻度	週1回（1回1時間30分）
TEPROが行った支援の内容	日本語指導支援員を3名紹介

### TEPROに支援を依頼した背景

2学期から日本語指導支援体制を拡充することになったが、新たな日本語指導支援員に心当たりがなく、過去に別のアシスタント職員募集で利用経験があったTEPROに支援を依頼。

### 学校の声

#### 支援開始後の様子

支援員の皆さんがあくまで意欲的で生徒に寄り添ったサポートをしてくださるので、しっかりと学習に取り組めています。また、支援員さんの励ましにより生徒が授業に来るようになりました。

生徒自身も学習の手応えを実感し、様々な面で意欲が高まっているようです。部活動への参加が増えたこともその影響の一端を感じています。



#### <副校長先生>

夏季休業中に支援申請を行ったところすぐに3名の支援員を紹介していただき、2学期は既存の支援員1名と合わせて計4名の支援員と教員による新体制でスタートできました。こちらのニーズを聞き取って、支援員の通いやすさや実績を加味し、親身にマッチングに当たっていただいたおかげで、習熟度別に少人数クラスでの対応が実現しました。

生徒の日ごろの感想も「楽しかった」というものが多く、充実した時間を過ごしている様子がうかがえます。